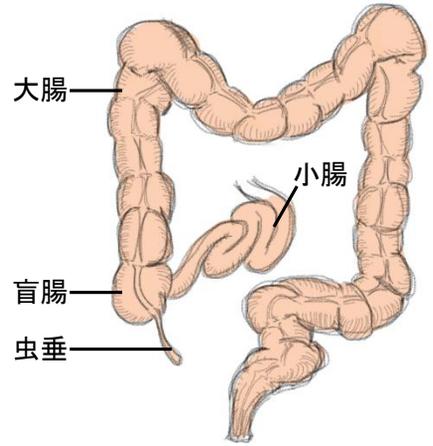


# こどもの虫垂炎

姫路赤十字病院 小児外科

## \* 虫垂炎とは？

虫垂は大腸の始まりである盲腸から伸びる小さい突起です。  
この部位に炎症をきたすことがあり、この状態を虫垂炎といいます。  
炎症の強度により虫垂炎の重症度は大きく変わるため、身体所見  
や超音波検査・CTなどの所見を総合的に診て行くことが必要で、  
治療も進行度により変わります。



## \* 虫垂炎の進行度と治療

進行度	カタル性	蜂窩織性	壊疽性		
			非穿孔性	穿孔性 限局性膿瘍形成	穿孔性 汎発性腹膜炎
治療	保存的加療 <small>繰り返す場合は手術</small>	手術 + 抗菌薬治療  または 保存的加療希望の 強い場合は抗菌薬 治療	手術 + 抗菌薬治療	緊急手術 + 抗菌薬治療  または 保存的加療 + 3ヶ月程度後に 手術 <small>保存的加療中に増悪ある場合は手術</small>	緊急手術 + 抗菌薬治療

## \* 保存的加療と手術の利点と欠点

	利点	欠点
保存的加療 (入院期間3-7日程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>体に傷をつけない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院が長くなることがある</li> <li>効果が不十分で症状が悪化し、結局手術が必要となる可能性がある</li> <li>再発の可能性が残る</li> </ul>
手術 (入院期間3日程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>再発の可能性がない</li> <li>保存的加療に比べて入院期間が短くなる可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体に傷がつく</li> <li>手術に関連した合併症の可能性がある</li> </ul>

# こどもの虫垂炎に対する治療

姫路赤十字病院 小児外科

## \* 虫垂炎に対する治療は？

虫垂炎に対する治療は大きく分けて、抗菌薬による治療と手術治療があります。多くの場合、これらを組み合わせて治療を行います。

## \* 虫垂炎に対する手術

腹腔鏡で手術を行うことが基本です。傷をできるだけ小さくすることで体への負担を減らすことができるため、臍の中に切開をおき、ここから様々な器具を腹腔内に挿入することで手術を行う事が多いです(図1)。しかし、虫垂炎の炎症が進むと腹腔内で臓器同士の癒着が起こり、一つの傷で手術することに困難や危険を伴うことがあり、その場合は傷を増やしたり(図2)、場合によっては開腹(図3)での手術が必要になります。

図1  
一般的な腹腔鏡での傷

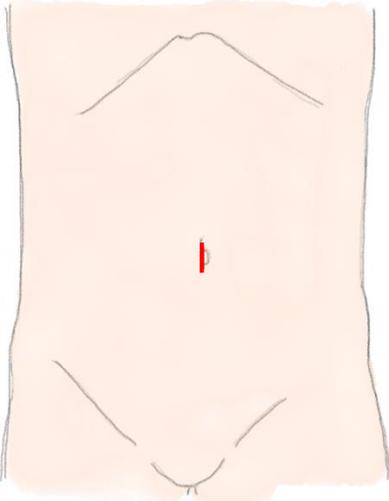


図2  
腹腔鏡で追加の傷

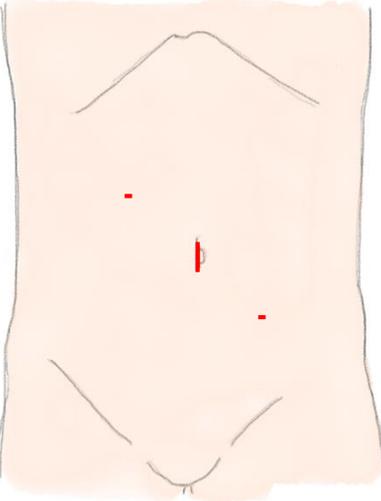
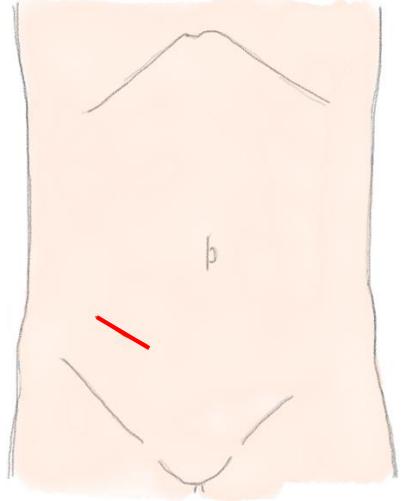


図3  
開腹での傷



## \* 虫垂炎に対する手術の合併症

当院では合併症が起こらないように、様々な対策を取りながら手術と周術期管理を行っていますが、合併症を避けられない場合があり、その際は追加の治療が必要となることがあります。

合併症は虫垂炎の重症度が増すほどに多くなるため、速やかに診断・治療を行っていくことが重要です。

一般的に報告されている合併症

出血・感染(創部・腹腔内)・副損傷(血管・腸管・膀胱・尿管・肝臓・生殖器・その他腹腔内臓器)  
術後癒着性腸閉塞・臍形態変化